

令和元年6月25日  
教育委員会

市指定無形民俗文化財 人見神社の『神馬』<sup>おめし</sup>

「神馬」は、人見神社の祭礼時に奉納される神事で、350年以上、浜の大漁と岡の豊作を祈願する伝統ある行事として受け継がれています。

神馬（雄馬<sup>ゆうば</sup>）は、神様がお召しになる馬ということに由来し、その年の天候や豊凶を占うとされています。神事では、馬がふもとの石段を駆け上り、裏坂から山頂の社殿へ移動し、拝殿への踊り込みを行います。拝殿内で東回りに滞りなく回り終えた年は豊作になるといわれています。

この神事は、昭和45年9月21日、市の無形民俗文化財に指定されています。



記

- 【期 日】 令和元年7月20日(土)  
【場 所】 人見神社(君津市人見892)  
【行事予定】 午前9時20分～ 神馬奉納  
【主催】 人見神社神馬保存会  
【交通案内】 JR内房線君津駅下車、君津市コミュニティバス人見・大和田・神門線「人見神社」下車

【本件に関する問い合わせ先】  
君津市教育委員会生涯学習文化課 担当：當眞・朝倉  
電話：0439-56-1380 FAX：0439-56-1627  
メール：shogaku@city.kimitsu.lg.jp



出典：地理院地図(国土地理院ウェブサイト <http://www.gsi.go.jp/index.html>)

### 人見神社案内図